



学校だより

風薫る

令和5年(2023年)3月24日発行

第14号①

(1・2学年最終版)

札幌市立北野中学校
(011)882-0754

<https://www.kitano-j.sapporo-c.ed.jp>



3月15日、第46回卒業式が行われ、卒業生139名が3年間生活した中学校を巣立っていきました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在校生は参加することができませんでしたが、温かさに包まれた雰囲気の中、卒業生一人一人が卒業証書を受け取りました。

学校長式辞

乙坂 誉日

令和2年4月。君たちは中学校へ入学してわずか一週間で、新型コロナウイルスの影響を受け、臨時休業に入りました。そしてその臨時休業は5月末まで続き、6月の学校再開後は少人数短時間登校となり、夏休みも授業日に振り替えられ、大幅に短縮されました。

行事はほぼ全て中止となり、授業だけを淡々と受ける毎日に、大きなストレスを感じていた人も多いでしょう。思い描いていた中学校生活とは、あまりに違う現実戸惑い、不安な気持ちに包まれていたかもしれません。

しかし、今まで誰も経験していなかった困難な状況であっても、君たちの側には家族がいて、仲間がいました。何気ない会話に思いやりを感じたり、ちょっとした行動に温かさを感じたり、コロナ禍だからこそ人と人とのつながりを感じられる場面もあったのではないのでしょうか。

「艱難汝を玉にす」という言葉があります。いかにも中国の古典からうまれた言葉のように聞こえますが、これは英語を日本語に訳したもので、当時はまだ日本語の言い方が漢文に近かったせいで、この形で伝わってきました。もともとは「逆境は人を賢くはするが、金持ちにはしない。」という文を訳したものです。調べてみると、マンガの「ドラえもん」にも登場し、のび太のパパがのび太に説教するシーンで使われていました。

「艱難」という難しそうな言葉の意味は「困難に出会って苦しみ悩むこと」です。また「玉」には、「美しいもの」や「大切なもの」という意味があり、「玉にす」で「美しくする」や「立派にする」という意味になります。

つまり「艱難汝を玉にす」は、「困難や苦勞を乗り越えることで、人は立派に成長する」という意味になるのです。

君たちと共に2泊3日を過ごした修学旅行。東北の地で行ききと活動する姿や、旅行を通じてお世話になった方々に接する姿、そして仲間を思いやる姿は、私にとって誇らしいものでした。まさに、困難や苦勞を乗り越えて、見事な玉となっていました。

日常の学校生活でも、校外での活動でも、君たちが見せてくれた北野中学校の最上級生としての、北野中学校の顔としての、立派な姿は忘れることができません。この先も私の記憶に残り続けるでしょう。

ご来場の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

本日はまだいくらか制約が残る中、ご理解とご協力をいただき、卒業式を行えたことをたいへん嬉しく思っております。保護者の皆様の、これまでの子育てのご苦勞をたたえ、そして、このように卒業式に臨む子供たちの立派な姿を、ともに喜びたいと思っております。

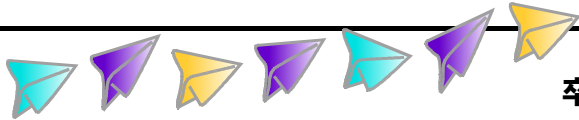
また、今年も関係小学校や地域町内会の皆様、各関係機関からのご来賓をお招きすることができましたが、ご来賓を代表して本校PTA会長塩谷隆治様のご臨席を賜り、たいへんありがとうございました。

結びとなりますが、この後君たちが歩いていく人生は、「確かな答えなんて何一つない旅」です。しかし、「心揺れて迷うとき」も「ためらう気持ち」のときも、「支えてくれる声」が気付けばいつもそばに、あるはずですよ。

先日学年集会で君たちに心温まる時間をプレゼントした先生方も間違いなくその声の主です。一緒に歌った「糸」の歌詞に「逢うべき糸に出逢えることを人は仕合わせと呼びます。」とあったように、これからも出逢いと、人と人とのつながりを大切にしてください。そしていつかまた、仲間たちとこの3年間を笑顔で語る日がくることを願っています。

卒業おめでとう。





卒業生 答辞

卒業生代表

雪解けの水が流れ始め、心地よい春の匂いを感じる季節となりました。

私たちは今日、この北野中学校を卒業します。本日は、私たちのために素晴らしい式を挙げてくださり、ありがとうございます。また、お忙しい中お越しくださったPTA会長の塩谷様、保護者の皆様に、卒業生を代表して心からお礼申し上げます。

3年前、なれない制服に身を包み、中学校生活に期待を抱きながら、私たちは入学してきました。当時はコロナウイルスが蔓延してきた頃で、例年とは違う入学式に不安がつのるばかりでした。その後も休校に分散登校が続ぎ、夏休みが2週間しかないなど、イレギュラーな1年を迎えました。

2年生へと進級し、規制が緩和されつつある中、私たちは初の文化祭を行いました。初めてだったけれど、全校生徒で楽しむ文化祭にすることができました。旅行的行事では旭川方面へ行きました。三笠の博物館に行き、その歴史に触れながら楽しい2日間を過ごしました。

最高学年となった3年生の年は、初めての出来事が多い年でした。1年生を体育館に入れた新入生歓迎会や陸上記録会、合唱コンクールも開催されました。更に規制も緩和されていき、卒業式もこのような形で行うことができました。

ここまで、入学してからの3年間をこうして振り返ってみると、例年とは違っても、楽しい3年間を過ごせたと感じます。そして、この3年間で学んだこと、気づいたことがあります。それは、3年の修学旅行でのことです。

入学してから旅行的行事は中止や延期、行けたとしても行き先などの予定変更がありました。ですが、私たちは予定通りに

行うことができました。無事に行くことができ、とても嬉しかったのと同時に、コロナ前の日常が当たり前ではなかったことに気が付きました。変わりゆく日常の中で、どう対応していけばいいのかも学びました。

コロナ禍で学級閉鎖になるときもありましたが、どの行事の時もコロナに負けじと取り組んできました。また、そのときはいつも先生方や家族の支えがありました。

1年生の先が見えなくなって不安を抱えているときも、2年生の文化祭の発表を無事に終えたときも、3年生の進路に迷って悩んでいるときも、そばには先生方が居ました。あのときに支えてくれた先生方、そして何よりも一番近くで見守ってくれたお父さん、お母さんには感謝してもきれません。

沢山学び、協力し合った中学校生活も今日で幕を閉じます。義務教育を終え、そして明日からは一人一人が、それぞれの夢に向かって進んでいきます。きっと、これからも予想外のことが起きたり、困難なことが沢山あるでしょう。ですが、北野中学校で学んだ数々の経験がきっと力になります。自分を信じて前を向き、将来へと進んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、私たちを何度も助けてくださった職員の方々。小さい頃から温かく見守って下さった地域の方々。入学してからともに学校生活を送った同級生のみんな。生まれたときから今まで支えてくれた家族。そして、私たちに関わって下さった全ての方々。本当にありがとうございました。これからも、この北野中学校で経験したことを忘れずに生かしていこうと思ひます。常により良いものを目指していくために、自分自身を信じて努力し続けることを誓い、答辞とさせていただきます。

在校生 送辞

在校生代表

寒さが残りつつも春の訪れを感じる頃となりました。

今日の柔らかな風の中、3年生の皆さんは、北野中学校を卒業されます。夢への大きな一歩をそれぞれの胸に抱き卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、皆さんはどのようなことを思いながら卒業式に臨んでいることでしょうか。中学校生活3年間の中で感じてきたこと、思ったことを一つ一つ振り返り、新しい生活へ期待で胸を膨らませていると思ひます。私たち在校生も先輩方と過ごし、その中で学んだことや様々な思いが胸をめぐっています。

2年前、中学校に入学してきたとき、期待や不安でいっぱい戸惑っていた私たちに中学校とは、どのようなところかを示してくれたのは先輩方でした。そんな3年生の素晴らしいところは、周りのことをよく見て、すぐに行動できる場所だと私は思ひます。文化祭や生徒会活動、部活動などで、それを感じました。

文化祭での、開会式の一瞬で全校生徒の心を掴み盛り上げる力。とてもきれいな装飾。3年生らしい一つ一つのフレーズに感情のこもった演劇。今年度の文化祭は、3年生の皆さんのおかげで全校生徒が楽しむことができました。開会式は、同じ2年目のはずですが、先輩方の方が緊張している様子もなく、場

を明るく私たちの活動をやりやすくしてくれました。

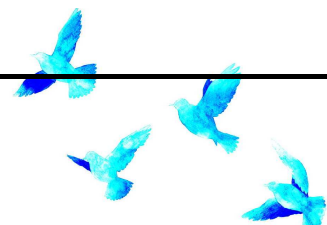
私は、1年生の後期から生徒会役員を務めています。生徒会役員の先輩方は、不測の事態への対応が求められるときに、自分から気が付いて行動していました。その姿を見て、こんなふうに行動ができるようになりたいと思ひました。

部活動では、私たち後輩のことを常に気に掛けてくれ、困っているときも助けてくれました。先輩方は私たちに、プレーだけでなく、部活動生徒としてどのようにあるべきなのかも教えてくれました。

今まで、たくさん色々な場面でお世話になってきた3年生の皆さん、これからの生活の中で、悩むことや、上手く物事が進まないこともあるかと思ひます。ですが、北野中学校で生活する中で得た経験を生かして、自信をもって自分の道を突き進んでください。明日から、先輩方がいなくなっても、今まで受け継いできた北野中学校の伝統を絶やさないようにします。そのために、先輩方同様、周りのことをよく見て、すぐに行動します。私たちのできる最大の努力をします。

皆さん、北野中学校での経験という羽をもって、未来へ大きく羽ばたいてください。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。





学校だより

風薫る

令和5年(2023年)3月24日発行

第14号②

(1・2学年最終版)

札幌市立北野中学校
(011)882-0754

<https://www.kitano-j.sapporo-c.ed.jp>



「修了式に寄せて」

校長 乙坂 誉日



今日で本校の令和4年度が終了します。皆さんはそれぞれの学年を修了し、次の学年への準備期間に入ります。そして、世の中では年度が変わることで人々の移動が始まります。別れと、新しい出会いの季節を迎えます。私は、これまでも皆さんに「人と人との出会い」や「人と人とのつながり」について話すことができました。それは私自身の経験も含めて、「出会い」や「つながり」の大切さを伝えたいと考えるからです。

先日行われた野球の世界大会「WBC」に関する話題では、大谷翔平選手と栗山監督の師弟関係について触れられることが多くありました。北海道日本ハムファイターズに所属していた時代を知るファンなら、すでに知っていることが多かったと思います。現在も「二刀流」で活躍を続ける大谷選手にとって、やはり栗山監督との出会いは大きな意味を持つでしょう。さらに、当時のチームメイトや、コーチ、スタッフとの出会いやつながりが、彼の成長を助けたのだと思います。そして、いつも一緒にいる通訳の「水原一平」さんとも、ファイターズで出会い5年間一緒に過ごして創り上げた信頼関係があるからこそ、メジャーリーグでも力を発揮できているのではないのでしょうか。

また、先日将棋の世界で史上最年少の六冠を達成した藤井聡太さんも、素晴らしい師匠との出会いがあったからこそ、快挙を達成できたのではないかと思います。藤井さんの師匠は杉本昌隆八段です。30代前半で最初の弟子をとりましたが、当時としてはかなり若い師匠です。そこで自らが兄貴分のような立ち位置になりたいと考え、「師匠に威厳はいらない」とよくお話しされるように、弟子との接し方を工夫したそうです。「弟子がものを言いやすい雰囲気を作りたい」との思いから、弟子達が集まる研究会には必ず「おやつ時間」を設けています。そんな環境の中で、藤井六冠が力を伸ばしていきました。

師弟関係に限らず、皆さんが経験する出会いの中には、大きな意味をもつものがあると言えます。人と接する中で様々な経験が、様々な意味を持ち、様々な影響を与えてくれます。どうか、一つ一つの出会いを大切にしてください。その出会いと、その後のつながりを自分の未来によりよく生かしてくれることを願っています。

令和4年度修了

1年生は中堅学年に向けて

「中学校生活に慣れること」・「中学校生活の楽しさを見つけること」ができたでしょうか。来月には新入生が入学してきます。今年、1年生で学んだことが土台になります。1年生の各学級で学んだことを持ち寄り、2年生の新学期がスタートです。居心地の良い学年・学校を作りましょう。

2年生は最高学年に向けて

いよいよ3年生となります。小学校とは違い中学校での最高学年は、自分の進路を決め、実現に向けて取り組んでいく年になります。今まで以上に学校生活での時間の使い方が大切になってくるでしょう。また、最高学年として求められることがあります。どんな3年生になりたいか、3年生を送り出す活動の中で進級する実感をもってくれたことと思います。

新年度に向けて、今後とも保護者、地域の皆様の本校への御理解ならびに御協力を何卒よろしく
お願い申し上げます。

令和4年度 北野賞・表彰者

陸上記録会新記録

女子100m : 3年
男子4×100mリレー : 3年
女子200m : 2年
女子1000m : 2年

生徒会誌「しらかば」

表表紙 : 3年
裏表紙 : 3年

文化祭

テーマ : 2年
シンボルマーク : 3年

全国大会出場

第60全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 : 1年
IZUMI COMPANY DANNCE CONTEST : 1年
スポーツライミング第2回ユースフューチャーカップ2022 : 1年
第22回全日本チアダンス選手権大会 : 1年
北海道UJフレッシュボクシング大会 : 1年
北海道UJフレッシュボクシング大会 : 2年

令和5年度 入学式について

第47回入学式につきましては、来月ということもあり、現在の通知に基づき、今年度の卒業式と同様に計画をしております。新入生の保護者の皆様には、詳細を案内文書にてお知らせします。また、PTA会長以外の来賓の方には案内をしないことを御了承ください。

次年度の入学式にも来賓の皆様や地域の皆様に卒業式同様に御列席いただけないことを残念に思います。

4月の主な予定 現時点での予定になります。

6日(木)	着任式・始業式	2・3年生ワーク販売
7日(金)	第47回入学式	
10日(月)	学級写真撮影	
11日(火)	新入生歓迎会	
13日(木)	GKK(学力検査)	
17日(月)	授業参観・学年学級PTA	
18日(火)	全国学力・学習状況調査	
20日(木)	部活動設立集会	
25日(火)	身体測定	
27日(木)	授業参観・PTA総会・部活動後援会総会	

離任者紹介

林 康弘【教頭：東月寒中学校へ】

私にとっては約25年ぶりの里帰りでしたが、当時と縁のある保護者や地域の皆様にも多数お声掛けをいただき、懐かしさとともに、楽しく過ごせた2年間でした。コロナ禍の特殊な状況の中でも明るく工夫してがんばる子どもたちに元気をもらいました。世の中は新しいことで溢れていますが、流されることなく思いやりの心と自分自身を大切に、自ら人生を切り拓いてください。ありがとうございました。

仲野 美登里【特別支援：新川高校へ】

「将来は、多くの人に幸せを与える教師になりたい」——小学校の卒業アルバムにそう書いたことを、今でも覚えています。あれから13年。私の夢を叶えてくれたのは、北野中学校のみなさんです。私の人生で、初めての「教え子」になってくれたみなさんのことは、この先もずっと忘れません。私を、「先生」にしてくれてありがとう！

川原 淳【国語：羊丘中学校へ】

思い出をありがとうございました。北野中学校の優しい生徒たちと過ごし、楽しそうに学校生活を送る姿、悩みながらも困難を克服しようとする姿から力をもらい、充実した日々を過ごすことができました。

保護者の皆様には、御協力をいただきありがとうございました。お世話になりました。

佐藤 菜摘【事務職員：美しが丘緑小学校へ】

事務職員の勤務時間は8:15~16:45となっていて、よほどのことがない限りは時間内に仕事が終わります。イレギュラーなことが多いと仕事も増えてしまうのですが、皆さんが学校の物品を大事にしてくれたので、穏やかに仕事ことができました。

5年間どうもありがとうございました。

喜田 貴美枝【社会：北白石中学校へ】

9年間、大変お世話になりました。たくさんの北野の子供たちと出会い、保護者の皆様、地域の皆様にご支援いただきました。誠にありがとうございました。先日ある会議で「北野の喜田です。」と自己紹介をした際に、誇らしい気持ちになっている自分に気が付きました。穏やかに優しく、輝く瞳で何事にも取り組む「北野の子供たち」が大好きでした。子供たちの幸多き未来と、北野地区の発展を心からお祈り申し上げます。

鎌田 智裕【用務員：上野幌中学校へ】

北野中で2年間勤務させていただきました。生徒の皆さん、保護者の皆様、校長先生はじめ教職員の皆さんに支えられ短い間でしたが充実した2年だったと思います。北野中学校を離れるのは残念ですが、ここで経験したことを次にも生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

須貝 勇太【数学：平岡中学校へ】

9年間という長い間、たいへんお世話になりました。9年と言えば、小学校から中学校の義務教育の期間と同じ期間です。つい先日、その義務教育を終えた生徒たちを送り出したばかりですが、私も一緒に北野中学校を離れることになりました。今まで私に関わってくださったすべての皆様に感謝したいです。本当にありがとうございました。

清水 心美【校務助手：清田小学校へ】

生徒の皆さんとは直接関わることはありませんでしたが、職員室から聞こえる楽しそうな様子や、すれ違う時に挨拶してくれる姿にいつも元気をもらっていました。これから皆さんが明るい、充実した人生を歩まれることを心から願っています。3年間ありがとうございました。

三谷 渉【理科：白石中学校へ】

北野中学校に着任して5年。授業や行事、部活動などで生徒のみなさんと毎日楽しく過ごすことができました。今日が近づくと、寂しさが日に日に増していましたが、特に女子バスケットボール部のみんななどのお別れは、寂しさと道半ばにして去らなければならない申し訳なさや交差しています。コロナ禍にあっても、笑顔で学校生活を充実させようと頑張っていたみなさんの姿は忘れません。これからも北野中学校で出会う、仲間や先生と一緒に明るく学校生活を送ることを祈っています。保護者の皆様には、これまでいろいろご協力をいただき感謝しております。今まで本当にありがとうございました。

吉川 暢【スクールカウンセラー：信濃中学校へ】

本校には私が子どもの頃、中学2年生まで通っていました。初出勤の時には当時の面影のある校舎と、きれいに改装された教室と、見覚えのあるような理科室の標本が印象的でした。新型コロナウイルスの広がりもあり、皆さんと関われる範囲がかなり限定されてしまったのが残念です。いつかどこかでまた会ったら嬉しいです。

池田 真由子【学校司書：月寒中学校へ】

とても楽しい図書館ライフを送ることができました。3年間ありがとうございました！

